

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	笛吹市	芦川町	中芦川	地区名	唐沢(からさわ)	事業主体	山梨県
(1)事業概要								妥当	妥当でない
①課題・背景								○	
<p>本計画箇所は、笛吹市芦川町中芦川地区に流入する一級河川芦川の左支流に位置している。近年の集中豪雨による溪岸浸食や山腹崩壊の拡大により、溪流の荒廃が顕著となり、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p>								<p>③事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)</p> <p>・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)</p> <p>・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備</p> <p>③経済妥当性</p> <p>費用便益費 便益(B)/費用(C)= 2.25 > 1.0</p> <p>・便益(B)= 414 百万円</p> <p>・費用(C)= 184 百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性</p> <p>・流域内は治山堰堤が設置されているが、満砂となっている。なお、砂防ダムの計画はない</p> <p>⑤整備手法の有効性</p> <p>・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p>⑥環境負荷への配慮</p> <p>・切土法面は緑化し、裸地を残さない</p> <p>・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する</p> <p>⑦事業計画の熟度</p> <p>・地元笛吹市より強い要望あり</p>	
②整備目標・効果								○	
□主要目標								○	
<p>○土石流災害の防止</p> <p>保全対象 人家20戸 県道1000m</p> <p>土砂整備率 (現況)30% < 70% ※</p> <p>災害実績 有(H27年9月9日 台風18号) ※</p> <p>重要公共施設 有(笛吹市役所芦川支所) ※</p> <p>(第2次緊急輸送道路 県道笛吹市川三郷線) ※</p> <p>(※ 評価基準値)</p>								<p><妥当性評価></p> <p>・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断</p>	
□副次目標								○	
□副次効果								○	
<p>○被災時の被害波及の防止</p> <p>(第2次緊急輸送道路 県道笛吹市川三郷線)</p>								<p>(4)事業間優先度評価</p> <p>・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 2 優先度評価: I</p>	
(2)整備内容と整備量								○	
①整備内容								<p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">省 略</p>	
②整備期間									
③総事業費									
④全体計画									
<p>平成29年度 谷止工1基、山腹工0.03ha 55百万円</p> <p>平成30年度 谷止工1基、山腹工0.06ha 60百万円</p> <p>平成31年度 谷止工2基 85百万円</p>									
⑤規整備内容・期間・事業費									
<p>平成21年度 谷止工2基 35百万円</p> <p>平成22年度 谷止工1基 34百万円</p> <p>平成23年度 谷止工1基 27百万円</p> <p>平成24年度 谷止工1基 38百万円</p>									